

1 感染源を絶つ

登校せず、休養

発熱等風邪の症状がある場合は、
自宅で休養（欠席となりません）



検温結果、健康状態の把握

登校前に必ず検温し、健康チェックカードに記入する。



2 感染経路を絶つ

1日1回以上消毒

接触感染に注意が必要



そのうち、目、鼻、口などの粘膜は、
約44パーセントを占めています！

手洗い6つのタイミング

外から教室に入るとき 	咳やくしゃみ、鼻をかんだとき 	昼食の前後
掃除の後 	トイレの後 	共有のものに触ったとき

咳エチケット

何もしずに咳やくしゃみをする **X**

咳やくしゃみを手でさえる **X**

マスクがない時 **O**

マスクを着用する (口・鼻を覆う) **O**

ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う **O**

袖で口・鼻を覆う **O**

とっさの時

正しい手の洗い方

- 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。
- 手の甲をのぼすようにこすります。
- 指先・爪の間を念入りこすります。
- 指の間を洗います。
- 親指と手のひらをねじり洗います。
- 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

抵抗力を高める

十分な睡眠

適度な運動

バランスの取れた食事

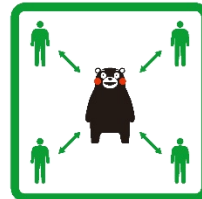
3 集団感染のリスクへの対応

できる限り「ゼロ密」

❶ 換気の悪い密閉空間 **X**

❷ 多数が集まる密集場所 **X**

❸ 間近で会話や発声をする密接場面 **X**



くっつかないモン
#KeepDistance
最低1m



手を洗うモン
#WashHands



換気をするモン
#OpenWindow

30分に1回以上
数分間・全開・2方向

©2010 熊本県くまモン

感染・感染の拡大のリスクを可能な限り低減しつつ、 教育活動を継続・生徒の健やかな学びを保障

新型コロナウイルス感染症と共に生きていく社会を前提とした場合、長丁場に備え、手洗いや咳エチケット、換気といった基本的な感染症対策に加え、感染拡大リスクが高い「3つの密」を徹底的に避けるために、身体的距離の確保（ソーシャルディスタンス/フィジカルディスタンス）といった「新しい生活様式」に、学校を含めた社会全体が移行することが不可欠です。

知らないうちに、拡めちゃうから。

